



TOP GLOBAL
UNIVERSITY JAPAN

【スーパーグローバル大学創成支援 (SGU) タイプB採択】
国際性豊かな学術交流の母港
「グローバル・アカデミック・ポート」の構築
グッドプラクティスご紹介

<2024/1/17 上智大学・関西学院大学共催SGU総括シンポジウム>

副学長 (国際連携担当)
成田 静香



関西学院大学
KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY



質を重視し、世界から信頼される日本の“Top Global University”へ

「グローバル・アカデミック・ポート」の構築

日本と海外の学生・教職員が頻繁に行き来し協働する「国際性豊かな学术交流の母港」を整え、
本学の理念「Mastery for Service」を体現する世界市民の育成」を実現する。

◇5つのキーワード

スクールモットー: “Mastery for Service” (奉仕のための練達)



教育OSの刷新「ダブルチャレンジ制度」



協定に基づく海外派遣学生数日本一



国連・国際機関等へのゲートウェイ創設



国際通用性のある質保証システム構築



ガバナンス改革による総合的マネジメント実現



国際プログラムの飛躍的拡充

派遣



Outgoing Students

協定に基づく

海外派遣学生数日本一

学生の約2人に1人が留学
→その多くは協定大学へ

➤ 協定校への派遣

2013年895人

→2023年度見込2,000人
(うちオンライン400人)

目標2500人/年

➤ 海外協定大学の拡大

2014年度174校

→2023年度

55か国・地域/305校

アジア初の国連ユースボランティア、JICA、国際赤十字への派遣等、国際機関との協定による派遣拡大



協定校との交流拡大
のための環境整備

Fusion Program

融合

- 留学生と日本人学生の融合型プログラムの拡充
- 混住型国際学生寮の拡充

受入



Incoming Students

➤ 留学生受入

2013年913人

→2023年度見込1,700人
(うちオンライン250人)

目標1500人/年

→協定校からの受入を拡大

- 充実した教学・生活・経済支援体制、日本語教育のさらなる拡充

キャンパスの
「内なる国際化」
の推進





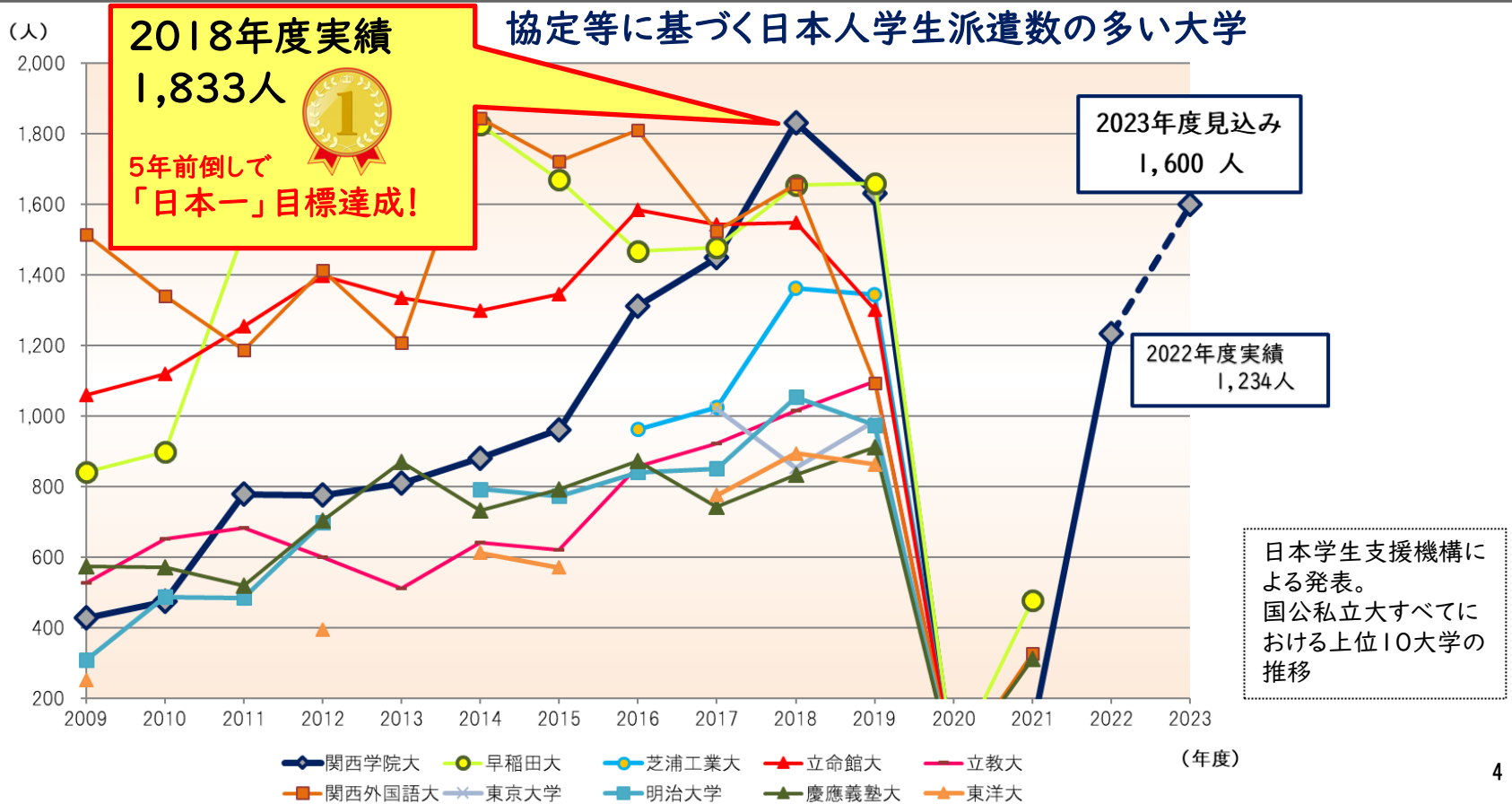
「SGUグッドプラクティス」に本学の取組が採択

※SGU検証作業において、同検証部会より認定（2023年6月）

協定等に基づく海外派遣学生数日本一の実現

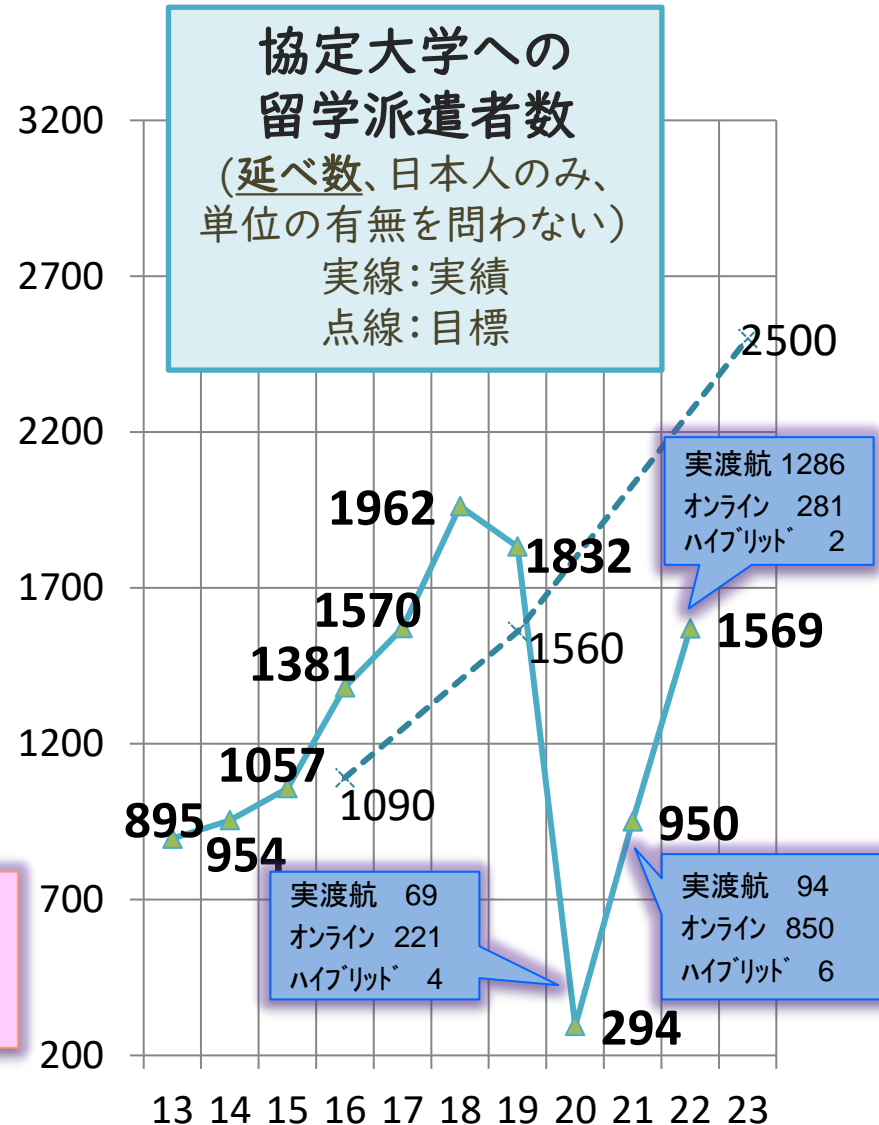
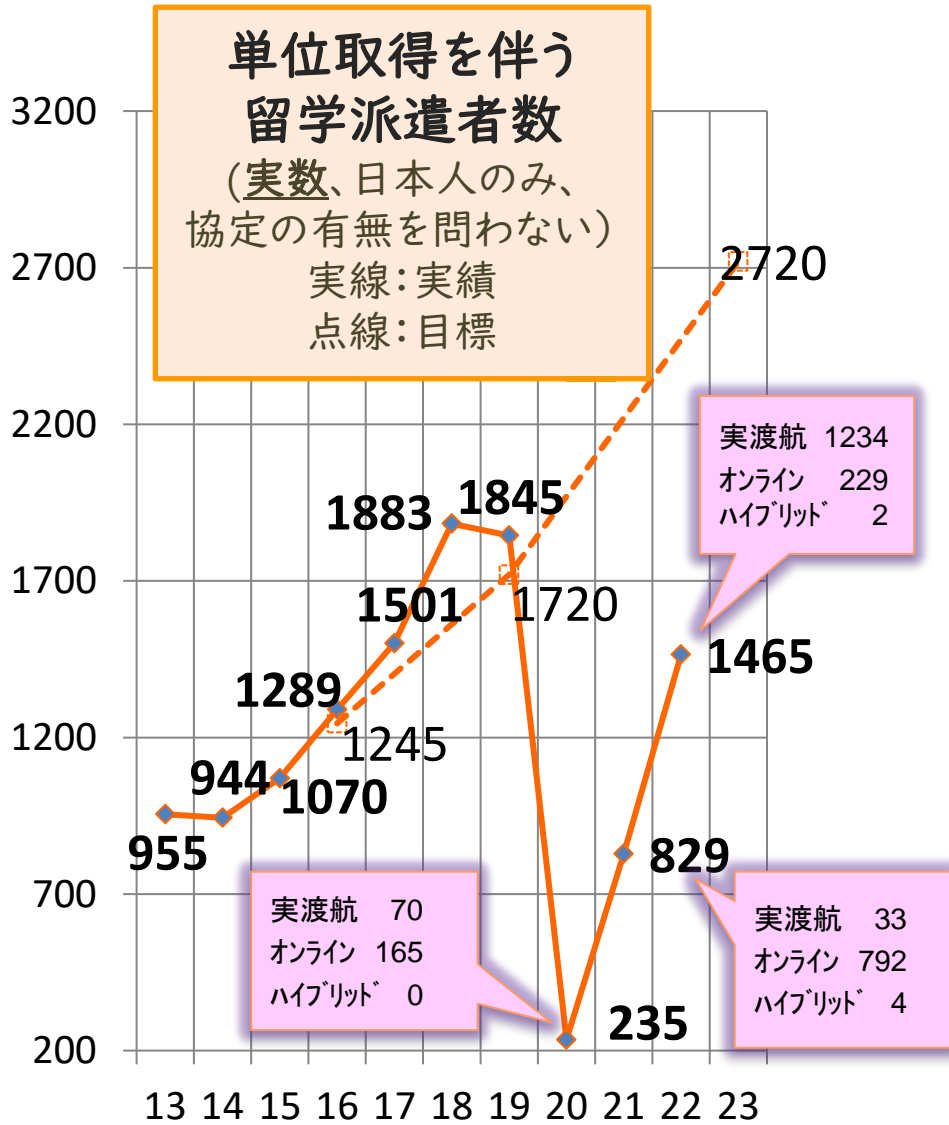
SGU検証部会コメント(評価されるポイント等)

海外派遣学生の増員にチャレンジし、様々な取り組みを行ったこと。その他、協定校の拡大、奨学金(学生支援)と危機管理体制を充実した。どの大学も直面している問題として、派遣学生の語学力の向上と意識改革であり、それに対しても、様々な試行錯誤の上、一定の成果を収めたことは評価したい。また、多くの学部や研究科を派遣プログラムに参画し、大学全体の取り組み姿勢を見受けられた。





学生の海外派遣：2つの指標と実績・目標 (SGU定義)



※2020年度以降は、文部科学省の方針も受け、オンラインによる短期国際教育・交流数も算入。

協定等に基づく海外派遣学生数日本一の実現

推進に向けた取組・施策(例)

1. 海外協定校の拡大 (協定大学・組織数:2014年度174→2023年度305)

海外大学との協定締結にあたっては、以下①～④の審査項目をもとに候補校を選定の上、学内審議に附し決定するなど、質の担保が図れるようプロトコルを整備。

- ①日本の4年制大学相当に位置付けられる機関
- ②大学ランキング等の社会的評価
- ③学部・研究科構成
- ④本学の建学の理念、
ミッション等の合致性など



2. 奨学金の拡充

◆中長期の留学奨学金制度の充実に加え、3カ月未満の海外協定大学への短期留学を対象とする奨学金制度を新設(2015年度)。

◆寄付金を活用した協定校以外への留学や招聘留学生との共修機会となる「融合」プログラムへの参加を支援する奨学金制度を新設(2019年度)。

3. 危機管理体制の整備

◆派遣学生情報のデータベース化。一元的に集約・共有できる「海外渡航管理システム」の構築
▫学内体制と保険会社、外部危機管理業者を組み合わせた危機管理・対応システムを確立。



協定等に基づく海外派遣学生数日本一の実現

推進に向けた取組・施策(例)

4. 学生の英語力向上を図る教育の整備

- ◆英語習熟度別クラス編成を2017年度から導入。上位層を対象とするインテンシブ・イングリッシュ（1学年定員750人）は、1年次秋学期から2セメスター間、25人の少人数クラス編成で週3回、ネイティブ教員による4技能「聞く・話す・読む・書く」のレベルアップ。2年次には海外協定大学への中期英語留学（1セメスター）に接続できるよう設計。
- ◆4技能の伸長やTOEFL、IELTSなどの英語スコア獲得を目指す選択科目の充実化。

5. 「出島」からの脱却

◆SGU採択を機に、従来の全学センター提供型に加え各学部・研究科等が提供する専門性に根差した国際プログラムの開発促進。

- ▣各学部がプログラム開発・運営に要する教員・職員の渡航費・経費を補助する「SGU推進費」（年間約3千万円）の創設
- ▣プログラム運営のノウハウ・グッドプラクティス共有会の開催



建築学部「建築学国際プログラム(マラヤ大学)」



人間福祉学部「人間福祉フィールドスタディ」

	2013年度	2019年度	2023年度 (渡航分見込)
学部等提供プログラム数の増加	11	56	54

派遣者数全体における学部等プログラム数派遣者数比率も
2013年度6%→2019年度15%→2023年度18%に増加

協定等に基づく海外派遣学生数日本一の実現

コロナ禍～コロナ禍後の渡航再開での留学促進に向けた取組・施策(例)

6. 実渡航を伴うプログラムの促進支援

- ◆ 派遣再開に向けてガイドラインの特例を整備
- ◆ SGU推進費:複数の引率を可能として、安全管理体制を強化
- ◆ コロナを理由としたプログラム中止の場合のキャンセル料補填の仕組みを整備

感染拡大により渡航制限が生じ、急遽中止せざるを得ない場合に対応できる仕組みを整え、学部・センター等で安心して学生募集ができるよう環境を整備

7. 学生のプログラム参加促進支援

- ◆ コロナにより留学機会を逸した学生への支援奨学金を整備

コロナにより留学機会を逸した学生が1学期以上の留学に参加するために在籍期間を延長した場合、留学期間と相当の学費分を支援。機会を逸した学生の留学へのチャレンジを促す

- ◆ 円安、インフレ等に対応する緊急留学支援金の支給決定

23&24年度は約1.7億円/年を予算化

学生の留学を取り巻く急激な環境変化に対応するため、22年度～24年度の留学参加者に対し、緊急経済支援を実施

※22年度実績:

延べ1369名に1億2,279万円を支給

留学プログラム	奨学金額	緊急留学支援金額
ダブルディグリー留学	月額10万円	15万円
交換留学 1年	30万円	15万円
交換留学 1学期	15万円	7.5万円
長期留学 1年	50万円	25万円
長期留学 1学期	25万円	12.5万円
中期留学	20万円	10万円
国際社会貢献活動	30万円	15万円
短期プログラム	アジア:3万円 アジア以外:5万円	8万円
オンラインプログラム	2万円	-



関西学院大学
KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY

ご清聴ありがとうございました。

